

ダニ媒介性脳炎ワクチンの説明書

商品名：タイコバック 水性懸濁筋注 0.5mL/小児用水性懸濁筋注 0.25mL

〔組織培養不活化ダニ媒介性脳炎ワクチン〕

1. ダニ媒介性脳炎（tick-borne encephalitis：TBE）について

TBE は TBE ウイルスを保有するマダニに咬まれることによって感染する疾患です。

他にヤギの生乳（未殺菌）を飲むことによっても感染する事があります。

70-98%は無症状ですが、発症すると頭痛、発熱、悪心・嘔吐などがみられ、後遺症が残ることがあります。〔ヨーロッパ型：致死率 1-2%、後遺症 10-20%/極東型：致死率 20%以上、後遺症 30-40%/シベリア型：致死率 6-8%、後遺症 不明〕

2. タイコバック水性懸濁筋注とは

TBE を予防するためのワクチンです。TBE ウイルスへの感染が完全に予防されるわけではないため、基本的な対策〔虫よけ剤の使用、皮膚露出部を少なくする等〕も重要です。

接種量及び回数 16 歳以上 0.5ml/回、1 歳-15 歳 0.25mL/回

初回免疫の場合 1 回目→（1-3 か月後）2 回目→（2 回目の 5-12 か月後）3 回目

初回免疫（迅速接種） 1 回目→（2 週間後）2 回目→（2 回目の 5-12 か月後）3 回目

追加免疫 1 回目は 3 回目の 3 年後、追加免疫 2 回目は（1-60 歳）5 年毎、60 歳以上（3 年毎）

【破傷風トキソイドと同様に生涯における初回 1 回目の接種だけでは、効果が期待できません。】

3. 接種対象者

TBE リスク地域でレクリエーション（キャンプ、ハイキング、山菜取りなど）や仕事（林業、農業など）などの野外活動でマダニに咬まれるリスクがある方に、特に接種が推奨されます。

4. 副反応

主な副反応として、傾眠、注射部位疼痛、易刺激性（ちょっとした刺激で気持ちや体の変調をきたす）、下痢、頭痛、発熱などが報告されています。稀な副反応として顔面蒼白・呼吸困難・じんま疹〔ショック、アナフィラキシー〕、両側手足の力が入らない・歩行時につまづく・階段を昇れない〔ギランバレー症候群〕、発熱・まひ・意識の低下・頭痛〔脳炎〕などがあります。

5. 諸注意

特定の背景を有する要接種注意者：自己免疫疾患または疑いがある。活動性脱髄疾患またはコントロール不良のてんかん等の脳障害がある。出血性疾患がある、または抗凝固療法を受けている。過去に免疫不全と診断されている。近親者が先天性免疫不全症である。等

6. 健康被害が生じた場合 PMDA もよる公的救済制度の適応です。